

関ヶ原の歴史を肌で体験できる古民家

関ヶ原町 <高木さん>

施設の概要

- 【施設名】関ヶ原 結舎（むすびや）
- 【事業者】個人、家主居住
- 【部屋数】3部屋
- 【仲介サイト】Facebook、Instagram
- ・生まれ育った実家近くの空き家を活用
- ・宿のある「陣場野」は徳川家康最後の陣のあった場所
- ・建設中の岐阜関ヶ原古戦場記念館（愛称：関ヶ原メモリアル）や陣場野公園から近く、関ヶ原駅からも徒歩5分



施設の特徴・ポイント

- ・宿泊施設が不足している観光地で民泊を開業
- ・地元観光協会とも連携し、宿泊客の受け入れやイベントに協力
- ・北国街道に面し、北西には徳川家康の最後陣地跡、北には岐阜関ヶ原古戦場記念館が建設中（2020年7月開館予定）で、笹尾山や決戦地も徒歩で行け、古戦場めぐりには絶好の宿
- ・床の間には甲冑があり試着も可能、泊まりながら歴史を感じられる
- ・武士が甲冑の上から羽織る陣羽織（手作り）の試着体験や古戦場おもてなし武将隊関ヶ原組とのコラボイベントなど様々な体験メニューを提供



おもてなし中の武将



手作りの陣羽織と甲冑

事業者からの声

北海道の民宿に宿泊した際、近隣住民の温かさや経営者の生き方に感銘を受け、宿に住み込みで働いた経験があり、いつか宿を開業したいと思っていました。

地元の戦国イベントを手伝っていた際、関ヶ原町には宿泊施設が不足していることに気づき、空き家を借り民泊を始めたところです。

陣羽織や衣装を作って販売しており、試着することもできます。

宿泊された方から口コミで評判が広がっていくのが理想です。古戦場の真ん中で、歴史好き、戦国好きな人々を結んでいきたいと思っています。

近隣施設、観光地等の紹介

- ・関ヶ原は、石田三成率いる西軍と徳川家康率いる東軍が、東西を二分する戦国最大といわれる天下分け目の戦「関ヶ原の戦い」が繰り広げられた地です。
- ・関ヶ原の戦いから420年となる2020年に、関ヶ原古戦場の新たな観光拠点として県が整備を進めている「岐阜関ヶ原古戦場記念館」が7月に開館予定です。
- ・日本三大関所の一つ「不破の関」を境に、「関東」「関西」の呼称が使われるようになったといわれており、関ヶ原には言葉や食など様々な分野で東西文化が混在しているので、その違いを探してみるのも楽しいと思います。

今後の展望

- ・これまで週末や休日前のみ営業していましたが、岐阜関ヶ原古戦場記念館が開館されるので、営業日をもっと増やしていきたいと思っています。
- ・古民家や空き家を活用した民泊の見学や県外の事業者との交流にも興味があり、移住・定住希望者の受入れや関ヶ原ならではの体験教室も考えているところです。



宿泊者の方と居間で



関ヶ原古戦場



関ヶ原武将イベント